

## 3年 算数「時こくと時間のもとめ方」

本時の学習活動

(1) 目標

○ある時刻から一定時間前の時刻を求めることができる。

(2) 展開 (2/6時間)

	学習活動	○教師の支援 ☆評価
導入	1. 前時の学習を振り返る。 ・何分後、何分前を計算した。 ・時計の針を数えたり、数直線を読んだりした。 2. 湯島天満宮に到着する30分後の時刻から出発した時刻を求める。	○電子黒板に前時の学習内容を提示する。 ○到着時刻を正時にして、既習事項の確認をする。 (湯島天満宮到着10時・学校出発9時半など) ○時刻を変えて30分後の時刻を何度も確認する。
展開	3. 本時のめあてを知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;">                         時こくのもとめ方を考えよう。                     </div> 4. 湯島駅を出発して30分後の時刻から出発した時刻を求める。 ・到着時刻11時10分 5. 求め方を話し合う。 6. 時間が正時をまたぐ場合とまたがない場合に分けて計算することのよさについて話し合う。	○手が止まっている児童には、出発時刻に合わせた時計の模型を渡す。 ☆時計や数直線を用いて、時刻を求めることができる。 ○実物投影機や黒板など、児童が説明しやすい方法を選択させる。 ○到着2時10分、10時10分など複数の問題を解く。 ○児童が説明したことと関連付けながらフローチャートにまとめる。
終末	7. まとめを書く。 8. 本時を振り返り、次時のめあてを知る。	○困っている友達に解き方を教えるような相手意識を持たせる。

(3) 板書計画

**めあて**  
時こくのもとめ方を考えよう。

学校を出て30分歩いて、ゆしま天神に10時につきました。 かんたん  
 学校を出た時こくは何時何分ですか。

9時30分 (9時半)

湯島駅を出て30分歩いて、学校に11時10分につきました。  
 湯島駅を出た時こくは何時何分ですか。 むずかしい

10時40分

数直線

**まとめ**  
 ちょうどの時こくを もとに考えれば、時こくを もとめやすい。

#### (4) 電子黒板計画

- ・ウォーミングアップ（既習事項の確認）
- ・前時の振り返り（デジタル教科書のアニメーション）
- ・湯島天満宮の写真
- ・湯島駅の写真
- ・数直線（拡大して投影）
- ・フローチャート（板書と同じもの）→エクセルの表

12をこえるので、12までと12からに分けて計算します。



12をこえるか、こえないかで時間の計算の仕方を分けるのですね。

コンピューターに何時何分になるのか計算させられるんだよ。

